



ファームウェアバージョン:	DES-1210-28P	4.12.B040
ハードウェアバージョン:	DES-1210-28P	C1、C2
発行日:	2017/12/15	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード時の注意事項：	2
アップグレード手順：	2
追加機能：	7
MIB および D-View モジュールの変更点：	7
修正した問題点：	7
既知の問題：	7

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
4.12.B040	2017/12/15	DES-1210-28P	C1、C2

変更履歴	
2017/12/15	初版リリース
2018/1/5	既知の問題を追加

アップグレード時の注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

アップグレード手順：

CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download { firmware_fromTFTP cfg_fromTFTP } {<ipaddr> <ipv6addr>} <path_filename>	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DES-1210-28P> download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 DES-1210-28P-C2-4-12-B040.hex
```

```
Device will reboot after firmware upgraded successfully
```

```
Image Updated Successful
```

※ スイッチへのファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、自動的にスイッチが再起動します。

(2) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DES-1210-28P> show switch
```

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 0 hrs, 0 min, 26 secs
System Time	: 01/01/2013 00:00:15
System hardware version	: C1
System firmware version	: 4.12.B040
System boot version	: 1.00.009
System serial number	: QBBH3EC000001
MAC Address	: 3C-1E-04-F0-BD-04

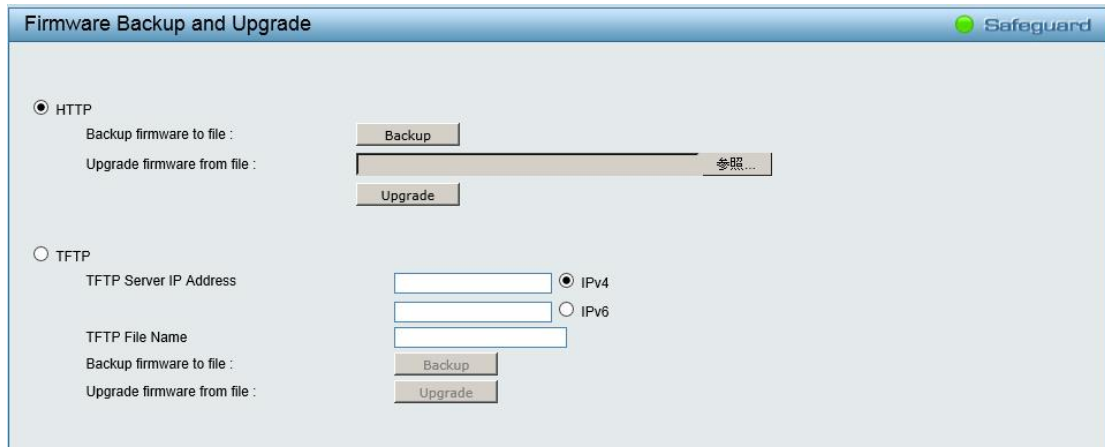
注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード：admin
3. Tools メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。



HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

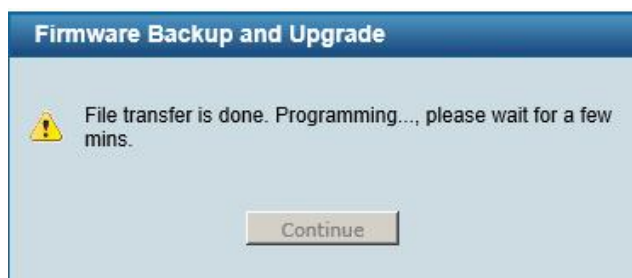
- (1) [HTTP]にチェックをいれます。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

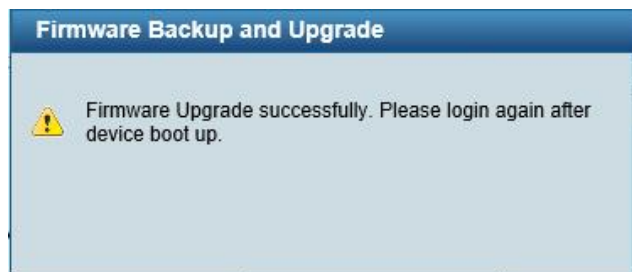


- (5) ファームウェアのアップグレードが開始します。
以下の順で画面が表示されますのでそのままお待ちください。



注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (6) 以下の画面が表示されるので、デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



- (7) [Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]と[TFTP File Name]を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) 以下の画面が表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



[Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されています。
アップグレードが終了すると、スイッチは自動的に再起動します。

ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (5) スwitchの再起動後に再度ログインし、Device Information 画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
4.12.B040	特になし

D-View モジュールおよび MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	MIB	変更点
4.12.B040	—	特になし

ファームウェアバージョン	D-View モジュール	変更点
4.12.B040	—	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
4.12.B040	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特殊な構成を組むことで、ネットワークが不安定になる問題を修正致しました。 2. Reboot System 画面において、再起動前にコンフィグの保存を確認するメッセージを表示するように修正致しました。 3. RADIUS 認証キーに特定の記号が含まれている場合、エラーが発生する問題を修正致しました。 4. Voice VLAN List に音声デバイスが表示されない問題を修正致しました。 5. 日本語 WebUI でいくつかの文言を修正致しました。 6. TCP 排他制御に関する問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題点
4.12.B040	<ol style="list-style-type: none"> 1. SSH User Authentication に不正な文字列を入力した場合に、Web 画面上はエラーとなるが MIB ではパスする問題。 2. ループバック検知をグローバルで無効化した場合であっても LACP でポートの追加が不可となる問題。 3. Web 画面と MIB の Port Description 設定において、不正な文字列による不整合が発生する問題。 4. rmonHistory Interval について、MIB の説明に誤りがある問題。 5. Private MIB において、SNTP Table Server Address の IP タイプが誤って表示される問題。 6. Private MIB において、DHCP Server Screen Trusted Server Address の IP タイプが誤って表示される問題。 7. システム稼働後、SNMP ホストに対して warm start トラップが送信されない問題。 8. OID 情報が一部取得できない問題。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">9. DHCP 確認要求を転送する RFC-2131 に準拠していない問題。10. DHCPv6 が T1(Renew)と T2(rebind)機能をサポートする RFC3315 に準拠していない問題。11. ループバック検知機能のプライオリティが 802.1x 認証インタフェースより低い問題。12. DHCP リレーが無効化されている場合、IP ACL の拒否ルールで DHCP パケット (UDP ポート 67) が破棄されない問題。13. DHCP クライアントを有効化し、WebUI を通じて設定を再度適用すると、DHCP リクエストパケットが転送されない問題。 |
|--|--|

Copyright 2006-2017 D-Link Japan K.K.